

お客様各位

=====

## SmartCS/SmartCSmini Version1.7.3 バージョンアップ手順

=====

セイコーソリューションズ株式会社

本資料は、コンソールサーバ SmartCS/SmartCSmini（以後、本装置と略記します）のシステムソフトウェアをバージョンアップする手順を記載しています。

システムソフトウェア Version1.7.3 は、少ポートモデルの SmartCSmini (NS-2240-04/-04D) と、多ポートモデル SmartCS (NS-2240-16/-16D/-24/-24D/-32/-32D/-48/-48D) で動作する共通のシステムソフトウェアです。

バージョンアップの手順は SmartCS/SmartCSmini 共通の「コンソールサーバ NS-2240 取扱説明書」にも記載しております。取扱説明書にはシステムソフトウェアの切り替え方法やコピー、復旧方法についても記載しておりますので、あわせてご覧になった後でバージョンアップを実施してください。

- ◇ 「NS-2240 取扱説明書」
  - 5 章 管理と保守
  - 5.5 システムソフトウェアの管理

バージョンアップに関する不明点は、販売代理店もしくは下記のお問い合わせ窓口へご相談ください。

【 お問い合わせ窓口 】  
セイコーソリューションズ株式会社  
TEL: 043-273-3184

=====

### バージョンアップ対象システムソフトウェア

=====

このシステムソフトウェアのバージョンアップファイル(差分)は、下記のシステムソフトウェアを対象としております。show version コマンドを実行して、バージョンアップを実施する装置のシステムソフトウェアバージョンをご確認ください。

対象システムソフトウェア：

Version 1.0.2、Version 1.1、Version 1.2、Version 1.3、Version 1.4、  
Version 1.5、Version 1.6、Version 1.7、Version1.7.1、Version1.7.2

## バージョンアップ方法について

バージョンアップ作業をはじめるにあたって、以下の点にご留意ください。

- ・ 本装置のバージョンアップはFTP プロトコルを利用して行います。  
作業を開始する前に、FTP クライアントが動作する端末を準備してください。
- ・ バージョンアップ作業には特権ユーザの権限が必要です。

### (1) バージョンアップファイルの確認

圧縮ファイル(2240v173.zip)を解凍すると、下記の3ファイルが展開されます。  
バージョンアップファイル(差分)のサイズをご確認ください。

NS2240-Readme-V173. pdf	-- 本ファイル
NS2240-ReleaseNote-V173. pdf	-- V1.7.3 リリースノート
system. 2240	-- バージョンアップファイル(差分)

system. 2240 のファイルサイズ :        6,359,040 バイト  
( system. 2240 の md5sum 値 :        b2dd54f34e27c75df259f18f34f2aaa0 )

### (2) FTP サーバの起動

本装置にログインして、FTP サーバの起動とアクセス権の設定、ならびに、工場出荷時に設定されているバージョンアップ専用ユーザ「verup」のパスワードを設定します。この操作はコンフィグモードで行います。バージョンアップ専用ユーザの名前を変更されている場合は、user-id が 199 のユーザに対して、下記の操作を行ってください。(ユーザ名は、show user コマンドで確認できます)

```
NS-2240 login: somebody ↓
Password:
(c)NS-2240> su ↓
Password:

(c)NS-2240# configure ↓
(c)NS-2240(conf)# create allowhost all service ftpd ↓
(c)NS-2240(conf)# enable ftpd ↓
(c)NS-2240(conf)# set user verup password ↓
Changing password for user verup.
New password:                      ↓
Retype new password:                      ↓
(c)NS-2240(conf)# exit ↓
(c)NS-2240#
```

(3) バージョンアップ領域のクリア

バージョンアップファイルを転送する前に、念のためにバージョンアップ領域をクリアしておきます。

```
(c)NS-2240# verup cleanup ↓  
clean up successful  
(c)NS-2240#
```

(4) バージョンアップファイルの転送

FTP クライアントから本装置にバージョンアップファイルを転送します。

Windows の FTP クライアントでの実行例を以下に記載します。

\*\*\*\*\*

注 意 :

ファイル転送中に本装置の電源 OFF や、RESET スイッチを押さないでください。システムソフトウェアが立ち上がらなくなることがあります。通信障害などで転送が失敗した場合には、そのまま再度、ファイル転送を実行してください。

FTP の転送モードは、必ずバイナリモードに切り替えてください。

\*\*\*\*\*

(ファイルを保存したディレクトリから FTP クライアントを実行します)

C:¥verup> ftp 192.168.1.1 (< NS-2240 の IP アドレス>) ↓

Connected to 192.168.1.1.

220 Welcome to FTP service.

Name (192.168.1.1:none): verup ↓

331 Please specify the password.

Password: <(2)で登録したパスワード> ↓

230 Login successful.

(バージョンアップファイルのディレクトリに移動します)

ftp> cd verupfiles ↓

250 Directory successfully changed.

(ファイル転送をバイナリモードに設定します)

(注意！) 必ずバイナリモードで転送してください。

ftp> binary ↓

200 Switching to Binary mode.

(ファイル転送の状態を表示するハッシュを On にします)

ftp> hash ↓

Hash mark printing on (2048 bytes/hash mark).

(バージョンアップファイル system.2240 を転送します)

(注意！) 必ず system という名前で転送してください。

ftp> put system.2240 system ↓

200 PORT command successful. Consider using PASV.

```
150 Ok to send data.
#####
226 File receive OK.
```

```
(FTP を終了します)
ftp> quit↓
C:¥verup>
```

#### (5) バージョンアップの実行

本装置にログインして、転送したバージョンアップファイルのチェックとバージョンアップをおこなう「verup execute」コマンドを実行します。再起動を促す問い合わせが表示されますので「y」を入力してください。本コマンドを実行してエラーが発生した場合は、(3) バージョンアップ領域のクリアからやり直して、再度 verup execute コマンドを実行してください。

```
(c)NS-2240# verup execute↓
Stop port service and reboot system are necessary for this version up.
May I stop port service and reboot in version up process [y/n] ? y↓
Version up file is extracting.
Please wait a few minutes...
check and extract successful.
```

\*\*\*\*\*

注 意：

verup execute コマンドとバージョンアップ実行後の再起動には、多くの時間を要することがあります。本装置が起動するまでは、電源を OFF にしたり、RESET スイッチを押さないでください。システムソフトウェアが立ち上がらなくなることがあります。

telnet でログインしている場合には、再起動するとコネクションが切断されます。  
システムソフトウェアが立ち上がるのを待ってから再度ログインしてください。

\*\*\*\*\*

#### (6) 確 認

本装置が起動した後に「show version」コマンドを実行して、システムソフトウェアが更新されていることを確認してください。

```
(c)NS-2240# show version↓
System          : System Software Ver 1.7.3 (Build 2015-11-30)
```

～中略～

システムソフトウェアのバージョンがアップしていたら、「show log console」コマンドを実行して、エラーメッセージの有無を確認してください。

(7) write コマンドの実施

Version1.4 未満のバージョンから、Version1.7.3 にバージョンアップした場合は、起動時に送信される Serial DSR Trap にラベル情報が格納されない不具合に対処するために write コマンドを実行してください。

詳細はリリースノートの Version1.4 不具合修正「3-2 起動時に送信される Serial DSR Trap にラベル情報が格納されない不具合を対処」をご参照ください。

```
(c)NS-2240# write↓  
Do you really want to write external startup1 [y/n] ? y  
.....writing  
(c)NS-2240#
```

(8) システムソフトウェア (backup) のバージョンアップ

バージョンアップしたシステムソフトウェア (main) を、システムソフトウェア (backup) にコピーする場合は、下記の手順を実行してください。

```
(c)NS-2240# copy system main to backup↓  
Do you copy main system to backup system [y/n] ? y↓  
Please wait a few minutes... done.  
copy successful
```

以 上